



3月に入ってから力強い陽射しに雪解け後の芽吹きを想像し、いつしか顔がほころぶ今日この頃です。学校では卒業式が行われ、新しい世界に向かって大きく羽ばたこうとするこの季節、街中が生き生きしていますね。

さて「まちづくり NPO ふきのとう」では、身近な話題や気になる出来事をみんなで一緒に語り考える「ふきのとう広場」を今年も開催します。今回のテーマは『有害鳥獣』。裏面に詳しい内容を掲載しました。情報交換しながら月形の「今」を見つめてみましょう。

「月形の今」と言えば、この1年、町内で色々な「まちづくり」の活動が行われてきました。現在進行中のものもあります。いくつかご紹介します。

円山スキー場跡地に 桜

昨年5月、「円山スキー場跡地に花見のできる憩いの場を作ろう」と『円山・里山づくり行動隊(代表 寺地正)』が呼びかけ、北海道千本桜運動の一環として提供された桜の苗木30本を植樹しました。私達『まちづくり NPO ふきのとう』もこの企画に賛同し、苗木を1本植えてきました(管理費として毎年1,000円出資)。円山・里山づくり行動隊では今回の桜の植樹を皮切りに、自然体験や心の癒しができる里山を造っていく計画だそうです。

お花見できる日が待ち遠しいです。

円山の杉林から新しい歴史 《開基130年 記念植樹祭》

もう一つ夢のある事業が動き出しています。

明治23年(1890年)樺戸集治監開庁10周年を記念して円山に植えられた杉は、月形の歴史とともに育ってきました。この杉から苗木を作り、開基130年に同じ円山で記念植樹祭を行うというものです。この杉は花粉ができにくい種類なので、穂を挿し木してクローン苗を作ります。その苗を町内各地が《里親》となって丈夫に育て、植樹祭で《親元》に帰すという計画です。

過去から未来へ繋がる事業、歴史ある月形ならではの、とっても楽しみです。



須部都川に カムバック・サーモン!

現在月形町役場、月形小、札比内小、花の里保育園で「サケの稚魚」が育てられているのをご存じですか? 玄関先の少し寒いところに置かれた水槽では、体長約6cm、銀色の体をキラつかせながら元気に泳いでいます。

このサケは、冬の初めに恵庭市の道立ふ化場からもらい受け、大切に育てられてきました。特に役場では知来乙・滝本さん宅の「北郷の名水」を汲んできて育てたとのこと。水の匂いを記憶して元の川に戻って来ると言われているサケ、名水の記憶をたどって「カムバック・サーモン!!」

このサケの稚魚は4月10日(木)「ちらいおつ遊び塾(旧知来乙小)」裏手の須部都川に放流されます。一般参加も大歓迎とのこと。詳しくは、役場産業課商工観光係まで)

この稚魚が大人になって帰ってくるのは早ければ平成22年(2010年)、つまり月形町開基130年の年です。



月形は自然に恵まれたとても素敵な土地です。そのため野生動物とも生活の場が重なり、時には危険にさらされたり、畑の作物を荒らされたり、困ったことが起きているのも事実です。

そこで「ふきのとう広場」では、私達の生活に影響を与える野生動物のうち、有害鳥獣と呼ばれるキツネ、カラス、アライグマ、鹿、熊などについて考えていきたいと思います。

月形のどの辺りで出没しているの？

どんな被害がでているの？

どうやって防ぐの？

もし被害がでたら、どうしたらいいの？

駆除はどんな風に行われているの？

有害鳥獣の生態（暮らしの特徴）は？

有害鳥獣からうつる病気って？

家の周りにキツネがいるけど、外にいるペットの犬は大丈夫？

有害鳥獣について、普段の生活で疑問に思うことがあると思います。全てに答えがあるわけではありませんが、みんなで情報を出し合いながら知識を深め、不安を減らしていきましょう。

当日は3組のゲストをお招きしています。

役場住民課有害鳥獣担当 大和田さん 保健センターの保健師さん
月形猟友会 藤部さん と 桑原さん です。

ゲストの皆さんにそれぞれの専門分野のお話を伺いながら、参加の皆さんの情報や質問も交えて進めていきます。どうぞお気軽にご参加下さい。お待ちしております。

第7回 ふきのとう広場

『有害鳥獣って？』

平成20年3月17日（月）午後7時～

母と子の家（市北6 月形小となり）

会場は昼間、学童保育として使用していますので、午後6時30分以降にお越し下さい。また、全てイス席、上履きは不要です。